

那須塩原市商工会報

Nasushiobara

発行所 那須塩原市末広町64-27(本所) ☎0287 (62) 0373 FAX0287 (63) 9451
 発行者 那須塩原市商工会会長 渡辺克久／編集・企画 会報委員会委員長 平山 博 印刷／専工一・プリント
 ホームページアドレス 本所 <http://nasushiobara-shokokai.jp/> 支所 <http://shiobara.shokokai-tochigi.or.jp>
 Eメール nasushiobara.net@shokokai-tochigi.or.jp

国道400号線「がま石トンネル」・ 「中塩原バイパス」開通



那須塩原市関谷地内の「国道400号線がま石トンネル及び中塩原バイパス」が9月29日に開通。関係者が出席して開通式が行なわれました。

塩原温泉へ向かう同地点は、連続雨量が200ミリを越えると通行止めになるため、週末や行楽シーズンの渋滞が課題でしたが、トンネル(1.4km)の開通をもって解消され、震災で減少した温泉街に客足が戻る一助になればと期待も高まっています。

事業費はトンネルが40億円、バイパスが22億円をかけて工事が行なわれました。

式典では、栗川仁市長が「今回の開通は塩原の観光振興に重要な役割を果たす」と式辞を述べられ、その後、「祈・交・通・安・全」と文字が貼られた部分に渡辺克久商工会長らが、お清め酒で文字をなぞり安全を祈願、テープカットとともに渡り初めとなりました。(写真：下、中央が渡辺商工会長)

また、同時に中塩原バイパス(1.5km)でも開通セレモニーが行なわれ、午後3時には供用が開始されました。

(会報委員 高根沢武一)

『那須野巻狩まつり2011』

今年も商工会協賛イベント
盛りだくさん！



金魚すくい
「これけっこう難しい??？」



フワフワくじら



エアー風船の無料配布



竹馬体験「上手に乗れます！」



竹細工体験
「竹とんぼ、できた！」



紙ひこうき作り
「こうして、あ～して……。」



女性部の皆さん
「きじ鍋」は早々完売！！



ペーゴマ体験
「教えてもらつたら、できた！」

東那須野支部**津波のあとに
残されたもの**

今年度の東那須野支部の会員研修会は、東日本大震災があまりにも多くの被害をもたらしたことを受け、「一般社団法人石巻復興支援協議会」の会長である伊藤秀樹氏を招き「津波のあとに残されたもの」と題し講演会を開催しました。

伊藤氏は、あの那須の水害の時に2週間ほどボランティアに来てくれたこともあり、私たち東那須野支部としても震災当事から支援をしてきた関わりの深い方です。その伊藤氏が体験した、そして津波に遭われた人たちの生の声を伝えてもらおうと企画し、それを私たちだけでなく中学生にも聴いてみらおうと東那須野中学校での講演になりました。

津波は本当に地獄だった。震災に遭われて家族を亡くした遺族は日々に言うそうです。「家の娘は4年生だったんだ。震災の前の日に一緒に寝てと言われたんだけど、一人で寝なさいって言ったんだ。それが…」「出がけに旦那とけんかしたんだよね。それが…」家族の絆、人と人の絆をあらためて気づかされたとのこと。

そして、大きな災害での復興の新しい形を創造しつづけています。それはボランティアの受入を法人化したことです。法人化することで行政から施策の

委託が可能になり雇用を生み出すことになる。復興に向け着実に前に進んでいます。

(東那須野支部
室越 礼一)



「第35回関東少年サッカー大会」 協賛事業

猛暑が一服した8月20日～21日。市内青木サッカーフィールドにて「第35回関東少年サッカー大会」が開催されました。

黒磯支部では、栃木県少年サッカー連盟による急遽の土産品売店開設依頼を受け、(有)ミートショップかなざわ提供の土産製品、(株)パン・アキモト提供のかんぴょうアイス、また、にこにこ家提供のお弁当の販売、それと支部自主運営のかき氷とジュースの販売等々を実施しました。2日間とも曇天が続き我々のブースは賑わい的に低調ではあったものの、その利益金は栃木県サッカー協会に寄付することができました。

大会に出場したチームは、関東1都7県のサッカー協会から推薦されたジュニア（小学生）総勢24チーム。雨に見舞われグランドコンディションは決して良い状態ではありませんでしたが、観戦している我々にはとても小学生とは思えないハイレベルな戦いが繰り広げられ感動の一言に尽きました。

写真のとおり、ゲストとして「北澤 豪」元プロサッカー選手も駆けつけ、当支部の土産品販売ブースも大いに盛り上げてもらいました。

黒磯支部**「黒磯は元気！
黒磯で元気！」**

8月6日・7日に開催されました黒磯盆踊り大会＆夏まつり会場は、今年一番の猛暑の中、当支部の夏まつりイベントは「スイカ割り」「スリッパ飛ばし」「カップ麺早食い」「飲み物早飲みリレー」「氷柱」それと「黒磯は元気！黒磯で元気！キャラクター愛称募集」など盛り沢山のイベントを行いました。特に元気キャラクターの愛称は市内上厚崎在住の方の投票により、夢と希望で「ゆめとくん」「のぞみちゃん」に決定されました。



今年は会場内のイベント区画を広く利用し、支部会員一丸となって遂行し無事終了することができました。これまでに市内スーパーでの街頭募金でご賛同いただきました皆様、また当日のイベントにご参加いただきました皆様に心から深く感謝申し上げるところです。

今回は私達にとっても特別な盆踊り大会になりました。3・11以来様々な出来事、それによる風評被害、消費者マインドの低迷など、私達商工業者にはどれもこれも向かい風です。そんな中、夕方からの盆踊り大会では、踊りの輪に6羽の白鳥が飛来し私達の想いを東北地方の皆様に届けてくれました。私達の想いが会場の皆様はもとより地域全体にも伝わったと実感できる催事となりました。「がんばろう東日本！がんばろう那須塩原！がんばろう黒磯支部」。それが「黒磯は元気！黒磯で元気！」につながったと感じます。

やる気・元気・本気。そして勇気！大切なことは自分達の地域をあらためて見つめ直すこと。強いコンセプトはそこから生まれるものと信じています。

次回もしかしてあなたが白鳥に！

是非来年は一緒に踊りましょう。
(黒磯支部
櫻田 貴久)



(会報委員 平山 博)

塩原支部

塩原温泉街が コスプレのステージに !!

去る10月2日(日)、「コスコテ in 塩原温泉郷」(後援:商工会塩原支部)が行われました。温泉街500mほどを歩行者天国にし、会場内でのコスプレ並びに写真撮影、飲食ができるというものです。

第5回となる今回は、30台もの痛車【イタシャ】の展示などもあり、宿泊参加者300名超、一般見物人1000人以上という、今までで最大規模のイベントとなりました。(※痛車:アニメやゲームキャラクターのシールなどを貼付けた車)

趣向をこらした様々な衣装や小道具でコスプレし、河原や日本庭園で嬉々として写真撮影するコスプレイヤーたちに、私達地元住民もはじめはとまどったのですが、実はとても礼儀正しい普通の若者達であり、今では絶大な歓迎ムードが高まっています。

次回はクリスマスイベントを計画中。見物に来るもよし!思い切って参加してみるもよし!。和の情緒あふれる塩原温泉街がコスプレのステージに見事に変化するさまを、ぜひ体験してみてはいかがですか?

(塩原支部 桜井 栄作)



青年部

地域に愛される 笑顔の絶えない大会

我々青年部のフレンドリースマイルカップも第4回を無事に開催することができました。これも青年部員はもとより商工会皆様の協力があっての事だと思います。大会関係者全員から感謝と御礼を申し上げます。

さて、この大会を立ち上げたキッカケは、ある青年部の仲間から「子供達のサッカーの試合が少ない」という話から、主旨として【子供達に【友達の大切さ】と【先生、保護者に感謝する気持ち】を感じてもらいたい】を掲げ、この大会を企画することになりました。

当初は、本当にできるのか不安だらけの試みでしたが大会を実施してみると、ことのほか順調に進み、じつに第4回である今回を迎えると、大会参加人数は年々増え2日間で延べ2,000人の一大イベントに成長しました。事業内容は、旧黒磯地区の小学校・近隣地区のクラブチームによる対抗試合から始まり、チームの代表選手によるロング

キック(一番遠くまで蹴れる人)ナンバー1決定戦。お父さんや監督・コーチ・各チームの代表による親睦会・フレンドリーマッチと充実され、今から次回開催を切望する声が父母・監督から出るほどです。青年部全員で嬉しく感じています。

これからもこの地域の子供達や父母に愛される一つの大会として第5回・10回と続けられるように青年部一同頑張ります。皆様今後とも応援を宜しくお願いします。

第4回フレンドリースマイルカップ実行委員長(青年部 人見 義明)



高林支部

「近くで遠い地元の名所」 一日研修後記

高林支部は7月24日、天候にも恵まれ会員研修を実施いたしました。鈴木支部長の歴史好きが高じて地元の社寺を中心に「温故知新」の気が引き締まる体験でした。



午前8時、JA高林支所をバスで出発して列記のコースを回ってきました。

○鳴内(黒瀧山大日尊) 寛政四年建立され、黒瀧山頂上までの24札所を参拝する山岳信仰の一の木戸。清水が最高でした。

○等根(嶽山等根神社) 飛鳥時代に祀られたとされるが定かではない。本殿は嶽山山頂付近に鎮座している。

○沼野田和(金乗院) 関東三霊場として火まつりと滝のある寺として有名。帰りに住職より清めの酒を頂き車中で駆走になった。

○佐良土(光丸山法輪寺) 日本一の木製の天狗の面で有名。

○黒羽(大雄寺) 地元高林寺と同じ曹洞宗の禅寺で茅葺きの建築物は県指定の文化財です。住職より貴重な法話を頂戴しました。

○昼食(黒羽観光やな) 鮎の釜飯は最高でした。

○黒羽(雲巣寺) 芭蕉の訪れた寺で有名です。赤い橋から階段にかけての景観はいつ観ても美しい。

○白河(白河の関) 奥州三関の一つに数えられ、東山道の関門として名高い。

○那須湯本(温泉神社) 温泉の神を祀った神社で「那須与一」と「殺生石」で有名です。

○夕食(反省会) 旅の最後は、やっぱり日本食手打ち蕎麦・うどんと締め括りました。

参加者からは、「近くに在るのに来たことがない」、「行きたくともなかなか行けない」、「心の洗濯ができました」等々、絶賛の声が聞こえました。地元にはまだまだ数多くの名所があります。たった一日のバスの旅でしたが、数多くの収穫ができました。

(会報委員 中川 丹重)



女性部**関東ブロック主張発表
大会に出場して**

忘れもしませんあの日・・・

未曾有の大惨事 東日本大震災のあの日・・・

平成23年3月11日 主張発表大会 栃木県予選会が行われました。

審査の結果“長生きしよ～ゲルト”の演題にて、県の代表として関東ブロック大会に出場させて頂く事となりました。

7月5日～6日、静岡県裾野市にて開催された関東ブロック大会。各県よりの代表者達（11名）とそれに伴う大応援団（約2500名）が勢ぞろい。緊張の真っ只中…。心臓バクバクでした。

しかし、皆様方の“横断幕を掲げ ヒラヒラうちわ”の熱き応援を頂いた時、「今しかない。この緊張感を楽しみたい！」「私しか味わえることが出来ない。このドキドキ感を遊び心に感じたい」と思い、すごく楽しく発表する事が出来ました。

ただ、残念ながら、私の力不足から全国大会出場の切符を手にする事ができませんでした。

しかし部長の配慮により10月13日～14日全国大会 in 富山（女性大学）に出席をさせて頂きました。貴重な体験・経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

各県の代表の発表から学び得た事

*自分が楽しまなければ、活動は続かない！

*自分に何ができるのか？を考え行動！

*イベント参加型ではなく、企画・運営型のイベント計画をたてる。経営者側目線の活動をしなければならない！

“いくつになっても私たちは女性です。乙女心を持ちましょう”



“きれいでいましょう！
美しくあり続ける努力を致しましょう！”
“明るく 元気に
頑張りましょう！！”
ありがとうございました。

(女性部
大島 小織)

**「塩原かたりべ講習会」
に参加して**

川面に映し出される美しい晴天の塩原。
紅葉には少し早かったようですが、女性部員の美しい紅葉が塩原温泉を彩っていました。

このたびの講習会は、まずトテ馬車に乗って塩原温泉の名所・風景を車では見られない目線で見てみる。それにより塩原の良さを再確認し、塩原の美しさを堪能することから始まりました。

その後で塩原のかたりべの方から、わかりやすい塩原の民話を聞き、語り部の方の暖かい心遣いを感じながら楽しい講習会となりました。何度も聞いても飽きさせない“かたりべ”心が和む一時でした。

商工会合併から、女性部同士の交流を通じてお互いの土地、地域への理解を深めることにより、これから事業活動に役立てられればと思います。女性のパワーでこれからも皆さんで頑張っていきたいと思います。

(女性部
君島ツヤ子)

**中小企業診断士による「経営無料相談会」を開催します。**

東日本大震災後の景気の低迷は被災地ばかりではなく、当地域においても大きな陰をおとしています。事業計画についても当初の計画どおりにはなかなか行かない状況が会員の方にも少なからず見られ、経営計画の見直しや変更を余儀なくされていることなど存じます。

このたび中小企業診断士会栃木支部の協力を得まして、個別の無料相談会を実施します。

ぜひこの機会に経営に関する諸問題等を、専門家のアドバイスにより問題解決を図ってみてはいかがでしょうか。また今回の無料相談会を受けられた事業所につきましては、フォローアップ（無料）も可能な場合がありますのでご相談ください。

日 時：平成23年12月7日(水) 10時～16時(正午から1時間の休憩あり)

場 所：那須塩原市商工会館会議室

講 師：中小企業診断士会栃木支部所属の中小企業診断士

相談方法：個別相談(1時間程度)

費 用：無料

申込方法：直接商工会まで、お電話でお申し込み下さい。

電話 0287(62)0373

そ の 他：フォローアップにつきましては、当日担当の診断士にご相談ください。

工業部会

【建設業関連委員会】

「定価での売り方教えます！」セミナー開催

建設業関連委員会では、地域再生コンサルタントの山田文美氏を講師に迎え「那須塩原リフォーム事業」登録事業所91社を対象に座学研修会を実施した。

研修タイトルは「定価で売っていますか？自分が売りたい本当の値段で商売できますか？」。内容は、各参加企業の事業エリア内での顧客コミュニティを形成して育成する手法、自己開示による情報発信をする方法、自分が伝えたい事を伝える技術の習得など実践的、具体的なものであった。

講師からは、「この3つのどれもカッコいい物ではありません。簡単にあつという間に達成できる魔法でもありません。これは確実に売上げを作り出す方法です」と説かれ、更には「偶然できる売上げを待つのではなく、意図的に売上げを作り出せるよう

になります」とのアドバイスを受け、明日からでもすぐに取り組める具体的かつわかりやすいセミナーであった。



【製造業関連委員会】

那須塩原交流会 “チャレンジ21”

南三陸町の被災地の現状および大震災復興への自然エネルギー活用事例を視察

那須塩原交流会の視察研修が、10月9日・10日の2日間、宮城県を訪ねて実施された。

今回は、本年3月の東日本大震災に係る「被災地復興支援」をテーマとした視察とし、それら具体的事例としては南三陸町観光協会の語り部ガイドによる震災体験の説明、並びに被災状況と復興状況の視察。加えて太陽光、風力など自然エネルギー活用の取り組み等を積極的に事業展開している一般社団法人「持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会」仙台支部を視察し、独立電源の通信・保安灯システムを現地で研修した。

これらにより今後の那須塩原交流会の研究事業活動に役立てることと、ひいては那須塩原市に貢献することができればと強く感じる研修会となりました。



商業部会

地域賑わいづくり事業「軽トラ市」開催

本商工会では地域における中心市街地の賑わいを創出するため、商店街の活力向上と地域内の交流を深めることを目的に「軽トラ市事業」を実施しました。

8月7日、黒磯盆踊り大会＆夏まつり会場（黒磯駅前通り歩行者天国）内には特設スペースが設けられ、商工会としては初めての取り組みであったものの、当日は実際に軽トラック等11事業者の荷台で農産物・加工品、商・工業品など販売が行われ、地元消費者と生産者、また商工業者相互が地域との交流を図り、祭り催事の相乗効果もあり事業の主旨からも充分な「賑わいの創出」効果が得られたものと思われる。



商工会の新しい火災共済制度 幅広い補償で手厚くサポート

NO PROBLEM! 新総合火災共済

○専用住宅・併用住宅が補償対象

「建物」「家財」そして特約で「営業用什器・備品等」も共済の対象となります。

ご契約時の共済金額を限度に

損害額を全額補償！(水災を除く)

従来の火災共済では、「時価額」の契約が主体となっていましたが、新総合火災共済では「再調達価格」として損害額が全額補償され、損害額の再取得が自己資金なしで可能となりました。

建物については、「評価済共済」として、事故発生時には建物の再評価を行うことなく、全損の場合は協定再調達価格をお支払いし、分損の場合は再調達価格ベースによる損害額をお支払いすることになります。

わかりやすい共済金のお支払い



新総合火災共済では、契約時に建物の再調達価格の評価を適正に行った上で、その範囲内で共済金額を設定して契約するため、共済金額を限度に損害額から自己負担額（風災・雹災・雪災のみ）を差し引いた額の全額をお支払いします。

詳しい内容については商工会または・・・

栃木県火災共済協同組合

宇都宮市中央3-1-4 栃木県産業会館6階

TEL 0278-637-3730 FAX 028-651-5110

拝啓、経営者の皆様

仲屋商店

那須塩原市
宇都野961-5

■事業の概要を教えてください。

当店では、小売店である「仲屋商店」の他にも飲食店である「寿亭（ことぶきてい）」、農園の「仲屋ゆず園」を営んでいます。その中で、特に3つの商品「まぐろ」「くじら」「ゆず」が当店の事業の三本柱であり、売りになっています。



小売店では、周辺住民の方々に食料品などを販売してきたほか、近年では自社ブランドの商品も取り扱っています。飲食店では地域で取れたものにこだわっていて、那須ブランド牛や地域で採れた野菜を提供しています。もとが魚屋だったため、その目利き力・人脈をいかして市場から良いマグロやクジラを買付けけることができています。私自身がそれらを捌いて提供しているんです。また、今後事業の中心としていきたいと考えているのがゆず園です。アグリツーリズムとして観光客を呼び込んでいて、ピーク時には延べ200～300人が訪れて、ゆず狩や様々なイベントを楽しんで行ってくれています。

■なぜ「ゆず」を取り扱っているのですか？

もともとこの辺りでは各家庭でゆずが栽培されていて、どこにでもゆずの木がありました。原点回帰ではないですが、改めてこの地域で採れたものを栽培して、一つの観光資源にしたいと考え、約20年前に苗木を栽培し始めました。現在では約150本のゆずが育っています。

今後はそのゆず園をもとに集客をしたいと考えている他、既にゆずの加工商品にも取り組み、新商品開発も手掛けています。

■今後の展望を教えてください。

「那須にもゆず園があるのか！」と人に言ってもらえるくらい、この地域をゆずの町としてPRしたいと考えています。

そのためにはこのゆず園が情報の発信地となることが必要です。特にこのあたりの地域には、那須ミルク街道や日本の原風景ともいえる豊富な自然の他、鳩ヶ森城址や山縣有朋記念館などの歴史的資源もあり、新たに道の駅もできています。

これらの観光資源を生かして、当店のゆず園を宣伝したいと考えています。

ゆず園が当地域を魅力的にし、地域の活性化に役立てたいという思いを持って事業を営んでいます。



那須塩原市商工会の会員事業所を、毎号2企業ずつ皆様にご紹介する特別企画です。今号では、「食料品小売業」並びに「菓子製造販売業」の方に登場いただきました。

今井屋製菓

那須塩原市
塩原786-8

■貴店の概要を教えてください。

当店は、創業から約60年間和菓子の製造販売を営んでおります。主力の商品は、こし餡の「温泉まんぢう」と粒餡の「田舎まんぢう」です。うちは保存料を一切使いません。後味もスッキリです。お客様からは「1年に1回は必ず寄ってます」という声や「那須や鬼怒川から廻って必ず寄ります」というお客様もおられます。

創業当時からの味と製法を頑なに守っていますが、今私達は塩原温泉の新しいおいしさ「とて焼き」の販売を開始しました。

■新商品「とて焼き」を詳しく教えてください。

「とて焼き」が誕生するまでには、様々な背景があります。まずは現在の全国的な景気の下落。伴って本年3月の東日本大震災による消費者マインド低迷と主要幹線道路での当地へのアクセス難。これらの要因を何とかプラスに変える手段は無いものかと必死に考えました。

そこで同業者何人かに昼夜問わず相談しながら、更には菓子工業組合の皆様とも議論しました。試作を重ね、他業種の皆様に何度も試食をしてもらい、やっと形になったのがこの「とて焼き」です。

コンセプトは、菓子店だけではなく温泉街に並ぶ飲食店でも店頭で買って、誰でも街中を歩きながら気軽に食べられる商品。地元の人も食べたくなる商品。私達はこの新商品を地域の事業者皆様に根気強く説明し、結果11店舗が賛同してくれました。中にはレストラン、食事処や日本蕎麦店・寿司店もあります。

販売開始は10月1日。その理由はがま石トンネルと国道400号線中塩原バイパスの開通、畠下温泉地区の落石除去完了。絶好のタイミングを感じました。それと「とて焼き」というネーミングは塩原温泉の顔の一つでもあるトテ馬車からとったもので、とて焼きの形は馬車に装備されているラッパをイメージしたものです。

定期的に参加全店が会合を開いていますが、販売後1週間で1,000個以上販売できたことは自慢に値するかと感じています。

■当地域に対する想いをお聞かせください。

以前、塩原温泉は観光客で賑わっていました。湯煙が立ち下駄の音が聞こえました。「とて焼き」を観光で来られる宿泊のお客様にもっとアピールしたいです。まだまだ改善の余地はあるとは思いますが、観光のお客様にこの「とて焼き」を持って温泉街を浴衣と下駄で散策してもらいたいです。

新しい温泉街の活性の起爆剤になればと強く思います。



魅力づくり志援塾 に参加して

今回の魅力づくり志援塾では、サブタイトルを「ステキ！」と言われる、「360° 魅力UP宣言！」として、私ブランド塾SHINBIのちとせ講師を中心に、全6回を内容に合わせて多数の講師陣に講義いただきました。

最初の2回の座学では、自分と相手を知ることを学び、その後の講座でレクリエーション交えて自分を知る手掛けかりを探りました。他には茶道の先生に和作法を学んだり、外見（見た目）の持つ力として服装・髪型によって変化する自分を実際に体験したりしました。

楽しく学べるカリキュラムと、レクリエーションを通じて今まで知り得なかつた塾生達と知り合えること、そして何よりも講師や塾生から刺激を受けられることがこの事業の最大の魅力だと思います。



約3ヶ月間、長いようで短い事業でしたが、もっと多くの人に参加していただき、積極的に自分から楽しんでもらいたいと強く感じました。
(第6期生:菊地勲)

平成23年度 「創業支援塾」に参加して

私は今回、創業に対するイメージの具現化のために創業支援塾へ参加いたしました。

初日から創業意識の高い方たち21名が参集し、自己の「夢」実現と那須塩原市への社会貢献意識が高いことに非常に強く感銘を覚えました。

塾の前半は、創業の意義・経営理念の重要性から、資金調達方法、具体的な数字の算出方法など、講義が進むにつれ創業時の計画づくりがどれほど重要なものなのかについて学ぶことができました。

後半では、グループに分かれ自分達でゼロから事業計画プランを作成しました。グループ内でも、さまざまな角度から活発な意見が生まれ、最後には立派な事業計画プランを作成することができ、本当に貴重な体験ができました。

最後に、この塾を通じて数多くの「仲間」が出来ました。志の高いこの「仲間」達とのつながりを与えてくださいました那須塩原市商工会を始め、色々



とフォローしていた講師の矢口先生、また陰ながら尽力いただきました職員の皆様へ多大なる感謝を申しあげます。

(長尾 勉)

平成23年分源泉税 年末調整納付指導会のお知らせ

日程 平成24年1月6日(金)

◇会場◇

- (1) 那須塩原市商工会館 2F会議室
午前9時～午後4時
- (2) 那須塩原市商工会 塩原支所
午前10時～午後3時30分
- (3) ハロープラザ 視聴覚室
午前10時～午後3時30分

◇持参するもの◇

- ①源泉税領収書（1月～6月迄の上期分）
- ②1人別徴収簿又は、従業員の給与支払明細
- ③従業員（専従者を含む）の住所・生年月日・扶養者数・生命保険料控除証明書・国民年金控除証明書・国民健康保険税・長期損害保険料控除証明書・地震保険料控除証明書・他
- ④源泉税の納付書用紙（決算書類に同封済）
- ⑤決算書同封書類（税務署より送付されたもの）
- ⑥印鑑・筆記用具

平成24年 那須塩原市新春賀詞交歓会

恒例の賀詞交歓会を実施いたします。

◆とき：平成24年1月11日(水)
午前11時

◆ところ：割烹『石山』

◆対象：那須塩原市に事業所を有する方、またはお住まいの方

◆会費：お一人様／4,000円

◆申込み及び問い合わせ
会費を添えて下記まで、お申し込み下さい。

那須塩原市新春賀詞交歓会事務局

①那須塩原市商工会 末広町64-27

☎0287(62)0373

② 同 塩原支所 塩原2404-2

☎0287(32)3767

◆申込期限：平成23年12月20日(火)

平成23年度上半期 (平成23年4月21日～平成23年9月30日)

新規加入会員のご紹介

★製造業

P・F・C(株)	相馬 淳 共墾社1-3-22	プラスチック製品 製造
----------	-------------------	----------------

★建設業・林業

タキタ管理	滝田 義明 豊浦2-97	建設業
クリーン大山	大田原武男 木綿畠2032	林業
小野興業	小野 竜二 佐野213-4	建設業

★サービス業

幸乃湯温泉(株)	荻原 正寿 百村3536-1	宿泊業
リラクゼーション 整体 みどりの森	大森 緑 東原4-12	整体業
天野商事	天野 淳司 新町114-48	運送業

★その他の業種

特定非営利活動法人 塩原温泉観光協会	田代 茂樹 塩原747	特定非営利法人
-----------------------	----------------	---------

★卸・小売業

(株)オオシマ	大島 克之 豊浦南町83-118	弁当製造販売
小糸な味処 山河	叶内 健二 大原間224	飲食業
居酒屋 一ノ蔵	佐藤 崇 東原3-13	飲食業
町のパン屋 ふくら	浅野 晃子 豊町9-24	パン製造販売
広東カステラの 店	泉田 慎治 鍋掛1091	菓子製造販売

★定款会員

那須塩原市商工会 青年部副部長	時庭 岳士 北栄町638-2	定款会員
那須塩原市商工会 青年部副部長	遠藤 諭志 豊住町80-19	定款会員
那須塩原市商工会 青年部副部長	鈴木 宏文 塩原597-8	定款会員

合計13事業所及び3定款会員(業種別受付順)

労働保険の加入はお済みですか?

思わぬ労災 予期せぬ失業 しっかりサポート労働保険

労働保険とは、雇用保険と労災保険を総称したものです。

労働者を一人でも雇用する事業主は、労働保険に加入し保険料を納付することが義務づけられています。

まだ労働保険に加入していない事業主の方は、すぐに加入手続きを行ってください。

詳しくは、公共職業安定所または労働基準監督署へ。

黒磯公共職業安定所 TEL 0287-62-0144
那須塩原市共墾社 119-1

大田原公共職業安定所 TEL 0287-22-2268
大田原市紫塚 1-14-2

大田原労働基準監督署 TEL 0287-22-2279
大田原市本町 2-2828-19

マル経融資（小規模事業者経営改善貸付）

マル経融資制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々をバックアップするため、那須塩原市商工会の推薦により、無担保・保証人不要・低金利で融資を受けられる国（日本政策金融公庫）の公的融資制度です。

資金のお使いみち	【運転資金】 仕入資金 買掛金・手形決済 給与・ボーナスの支払い 諸経費等の支払い	【設備資金】 店舗・工場改装 営業車両購入 機械・設備・什器の購入	担保・保証人	不要です
ご融資額	1,500万円以内		融資対象	以下のすべての要件を満たす方 <ul style="list-style-type: none"> ●従業員20人以下（商業・サービス業は5人以下）の法人・個人事業主 ●商工会の経営・金融指導を受けて事業改善に取り組んでいる ●最近1年以上、同一商工会の地区内で事業を行っている ●商工業者であり、日本政策金融公庫の融資対象業種を営んでいる ●税金（所得税、法人税、事業税、住民税）を完納している
ご返済期間（うち据置期間）	7年以内 (1年以内)	10年以内 (2年以内)		
利 率	1.85% (平成23年10月13日現在) ●融資利率は金融情勢により変わることがあります。		その他	ご利用の際は商工会長の推薦が必要です。

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

※この融資限度額、返済期間の取り扱いは、平成24年3月31日の日本政策金融公庫受付分までとなります。


平成二十四年経済センサス

活動調査を実施します

◆ 調査の趣旨・必要性を御理解いたします。

支社等を有する企業には、国、都道府県及び市が民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送します。

支社等のない事業所等には、調査員が直接伺い、調査票をお配りします。

調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。

活動調査は、全ての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査です。



総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

経済センサス-活動調査については、キャンペーンサイトをご覧ください。



日本経済の「いま」を教えてください。
平成24年経済センサス-活動調査

経済センサス

検索

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

那須塩原市企画部 市民協働推進課 TEL.0287-62-7105

栃木県立県北産業技術専門校からのお知らせ

向上訓練 受講者募集

企業団体にお勤めの方、自営業者方を対象に次の講座を実施します。

実施コース名	日 程	募集締切日	定員	受講料
プレゼンテーションソフトの活用 (PowerPoint編)	1月18日～1月19日	1月11日	10	3,430円
高齢者・障害者への接遇セミナー	2月21日～2月22日	2月14日	10	
ホームページ作成基礎 (ホームページビルダー)	2月22日～2月23日	2月15日	10	

訓練実施時間 午前9時～午後4時

訓練生募集

施設内訓練生（1月コース）

◆訓練科・定員・訓練機関

科 名	定員	訓 練 期 間
機械加工科	5名	平成24年1月10日～平成24年6月22日（6ヶ月間）

- ◆募集期間 平成23年11月1日（火）～11月25日（金）
- ◆入校選考 平成23年12月9日（金） 適性試験、面接、志願理由書
- ◆訓練対象者 求職活動をしている方、新たな職業に就こうとしている方及び東日本大震災の影響で離職されている方であって、職業訓練受講指示等が受けられる方
- ◆応募手続き 住所地の公共職業安定所（ハローワーク）にお申し込みください。
- ◆訓練実施場所 栃木県立県北産業技術専門校（那須町高久甲5226-24）
- ◆その他 授業料は無料です。ただし教材費等購入費は自己負担になります。

就労準備科コース

障害のある方を対象に、就職に必要な知識や技能を習得する

コース名	定員	訓 練 期 間
就労準備科	5名	平成24年1月11日～平成24年2月29日（2ヶ月間）

- ◆募集対象者 知的・精神障害のある方
- ◆募集期間 平成23年11月1日（火）～11月25日（金）
- ◆入校選考 平成23年12月24日（水） 面接
- ◆訓練時間 午前9時～午後3時（5時間）
- ◆訓練実施場所 エルムの園（大田原市中田原381）
- ◆訓練内容 就労生活全般、対人関係、公共交通機関利用、部品組立作業、収穫作業等を学び、職場体験実習を行う。
- ◆訓練対象者 ハローワークに求職の申し込みをされている方
- ◆応募手続き 県北産業技術専門校または、住所地の公共職業安定所（ハローワーク）にお申し込みください。
- ◆その他 授業料は無料です。ただし教材費等購入費は自己負担になります。

お問い合わせ先 栃木県立県北産業技術専門校 職業能力開発担当

TEL 0287-64-4000 FAX 0287-64-5445

会員事業所からお寄せいただいた元気up情報



那須高原ロングライドwith 宇都宮ブリッツエン

那須高原ロングライド実行委員会主催、那須塩原市商工会、那須塩原市、那須町、栃木県他が後援したイベント「那須高原ロングライド with 宇都宮ブリッツエン」が800名のエントリーを迎えて7月10日、那須地域（那須町～板室～青木～那須）を舞台に初めて行われました。

標高差1200mもあるコースは国内でも少なく、今回の新しいサイクリングイベントの誕生は、近年増加するサイクリストに那須地域という壮大な地を走れる場所の提案、提供ができたことの役割は大きく、国内のサイクルファンの大きな話題となりました。(参加者は一都6県を中心に800名、遠くは広島、京都、大阪などからも…)

サイクルスポーツを通じ「那須地域から元気を発信！」ことができることで震災後の暗い自粛ムードを変える、元気な那須地域の観光振興にも寄与できたことだと思います。

参加者はそれぞれ自分のペースで目標の距離を走れた、那須の風景や食べ物を楽しみながら参

今までないロードを仲間と思いっきり走れたなど、那須高原ロングライドの魅力に、ゴール後の参加者は笑顔の達成感であふれています。

同イベントは来年開催に向け既にプロジェクトが動き出しており、那須地域全体で第二回開催への期待が膨らんでいます。

文・写真 / 高根沢武一 (大会会長)

「がんばろう日本！元気だすべよ那須塩原市」

のぼり旗義援金 総額60,000円

このたびの東日本大震災、日本全国が震撼させられています。黒磯駅前通りでの恒例の黒磯盆踊り大会＆夏まつり、当初開催が危ぶまれる感もありましたが、元気を出して犠牲者にご冥福の祈りを込めて実行されました。

黒磯駅前活性化委員会から「がんばろう日本、元気だすべよ那須塩原市」の幟旗を作成して販売掲示してもらい、その販売額の一部を義援金として寄付したいとの提案がありました。この企画は活性化委員会だけではなく黒磯駅前地区三商店会で主催し、更には那須塩原市商工会、黒磯観光協会、西通り商店会の協賛を得て実行しました。

商工会では平山黒磯支部長や鈴木商業部会長からの賛同を得て販売を開始。8月1日一斉に掲示し黒磯盆踊り大会を迎えることができました。しかし、この幟旗はイベントのためだけではなく、少しでも市民皆様に元気を取り戻していただきたい。また少しでも震災被害者の方々の役に立てればとの想いがあったのは言うまでもあります。

せん。ご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。

主催：三商店会連合会
[黒磯駅前通り商店会/
あじさい商店会/
旭商店会]

文・写真 / 高木慶一
(黒磯駅前通り商店会)

職員人事に異動がありましたので、お知らせいたします。

新規採用



臨時職員 池澤沙織
(9月1日付け)
よろしくお願ひいたします

退 腿

主事補
八塚 崇行
(7月31日付け)

臨時職員
武田貴美子
(9月30日付け)

お世話になりました。

会員皆様方にも地元の商工業を利用していただき、街が発展することを願う一人です。そして、この会報が会員様に役立つよう話題や情報を発信できればと思います。

私も飲食業を経営する立場として切なくななり、少しでもこの人達の力になりたいと思いまい、お腹は空いていませんでした。せんでしたが食事をしてお土産を買いました。店主は深々と下げました。私は、この位しか出来なくてすみませんと言ひ残し、帰りの車中でお客様あつての商売であり生活があると実感したしだいで

今号は、今までとはちょっとと違いがあります。それは皆様も忘れたことのできない、あの3月11日の大震災です。

編集後記

